

あきた未来づくりプロジェクト調書

市町村名

鹿角市

プロジェクト名	スキーと駅伝のまち“賑わい創出”プロジェクト		
展開期間	平成24年度～平成26年度	新規・継続の区分	新規
プロジェクトの背景 (地域における現状、課題及び住民ニーズ)	<p>鹿角市では、平成19年に策定した「鹿角市スポーツ振興基本計画」において、スポーツによるまちづくりの推進を基本目標の一つに掲げ、花輪スキー場をはじめとする恵まれたスキー環境と、長きにわたり受け継がれてきた駅伝競走の伝統を生かし、これらスポーツを地域振興に結び付ける「スキーと駅伝のまち鹿角」を推進している。</p> <p>両競技に対する市民の理解や期待は高く、他地域に比べて競技人口は多いものの、スポーツに対する価値観の多様化や少子化等により、競技人口が減少しており、スキーと駅伝のまちづくりの懸念材料になっている。</p> <p>まず、ジャンプ競技者の育成については、競技に取り組むきっかけとなるミニジャンプ台から始めて、段階的にヒルサイズを大きくしていく必要があるが、現状はその途中で岩手県田山スキー場ジャンプ台を使わざるを得ず、冬期間の交通事情等も含め育成上の大きな問題点となっている。ジャンプ関係者からは花輪スキー場に現在設置されているK点20mのミニジャンプ台とヒルサイズ56mのジャンプ台をつなぐK点30mのジャンプ台の新設が強く要望されている。</p> <p>次に、中長距離選手の育成については、指導者が全体を見届ける範囲でのトレーニングを行うには平坦なコースしかなく、アップダウンにより心肺機能を向上させ、かつ、膝や足首に負担の少ないランニングコースの設置が陸上関係者から要望されている。</p> <p>なお、これまで鹿角市は、国民体育大会など全国規模の大会開催を活用したまちの賑わいづくりを行ってきたが、市民からさらなる継続的な「まちの賑わい創出」が強く求められている。</p> <p>また、浅利純子や小林範仁、高橋大斗など日本を代表するトップアスリートに続く、選手層が手薄になっていることから、次世代を担う競技者の発掘や育成が喫緊の課題となっている。</p> <p>県においては、平成22年3月に「秋田県スポーツ振興基本計画」を策定し、「競技スポーツの振興」、「スポーツ振興による地域の活性化」など5つの大きな柱により、スポーツによる「元気な秋田」実現を目指している。本プロジェクトは、競技人口の拡大と競技力の向上、各種合宿や大会開催等による交流人口の拡大など、秋田県が目指す方向性と一致しており、県施策を実現する上でも大きな推進役となりうるものである。</p>		
プロジェクトの目的及び概要	<p>東山スポーツレクリエーションエリアを重点的に施設整備することにより、スポーツ拠点、スポーツ合宿地としての環境が充実し、市内外から人を呼び込み、全国に誇れるスキーと駅伝のまちを目指し、さらにはまちの賑わいの創出と地域経済の活性化を図る。</p> <p>また、競技人口の底辺拡大と競技力の向上のため、実業団・大学等の大型合宿の誘致を進めるとともに、一流選手からの指導機会を得ることによって、地元小・中・高校生の競技力の底上げや、指導者養成を図り、市民が期待するトップアスリートの輩出に繋げる。加えて、全国規模の大会開催を誘致することにより、市民の関心やジュニア選手の競技に取り組むモチベーションの向上、選手や観客によるまちの賑わいといった相乗効果を得ようとするものである。</p>		
プロジェクトを構成する事業の概要等	<p>【市町村実施事業】</p> <p>(1) 東山スポーツレクリエーションエリア魅力アップ整備事業</p> <p>① 花輪スキー場スモールヒル(K点30m)建設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既設のK点20mからのステップアップに必要なK点30mの設置により、他県に出向くことなく、花輪スキー場内において競技レベルに応じた段階的かつ着実な選手の強化育成を可能とする。 <p>② 花輪スキー場クロカンハウス改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬季国体やインターハイ、夏季の全日本ローラースキー大会等、通年での全国規模競技の開催誘致のため、必要な改修を行う。 <p>③ 総合運動公園ランニングコース整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然芝を採用したアップダウンコースを整備し、市内外の選手の夏季トレーニングや市民の健康づくりに生かす。 <p>(2) スキーと駅伝のまちづくり事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国体をはじめとする全国規模の大会を通年で誘致等することにより、競技人口及び交流人口の拡大を図る。 <p>(3) スポーツ交流事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市で開催される県大会規模以上への補助や合宿を行う団体への宿泊補助及び誘致活動による交流人口等の拡大及び合宿団体との交流等によるジュニア選手の競技力向上を図る。 <p>(4) はばたけアスリート鹿角コーチング事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリート等によるジュニアクリニック及び指導者養成講座の開催により、競技力の向上を図る。 		

<p>プロジェクトを構成する事業の概要等</p>	<p>【県実施事業】 (1) 花輪スキー場ジャンプ台(ヒルサイズ86m)の改修 (県スポーツ振興課) ・既存のメディアムヒル(ヒルサイズ84m)をFISのノーマルヒル公認規格を満たす(ヒルサイズ86m)に改修する。 (2) スポーツ大会の実施、スポーツ合宿等への支援 (県スポーツ振興課) ※全県対象 ・スポーツ大会実施団体、スポーツ合宿団体等へ経費の一部を助成するとともに、海外からの合宿誘致を促進する。 (3) 拠点施設等指定に係る推進(県スポーツ振興課) ・NTC(ナショナルトレーニングセンター)競技別強化拠点の指定に係る要望等を実施する。</p> <p>【県・市協働実施事業】 (1) タレント発掘・育成事業 ・スキー選手及び中長距離選手の指導等については、日本オリンピック委員会・国立スポーツ科学センター・全日本スキー連盟の協力をも得て一貫指導体制の構築を図り、強化事業を実施することにより、オリンピック選手の輩出を目指す。 (2) 合宿・大会誘致事業 ・県・市の職員等による様々な団体への訪問セールス等により、交流人口の拡大を図る。 (3) 国内外からのスキー合宿等に対する支援 ・鹿角地域振興局、鹿角市、小坂町と観光の振興を目的とした機能合体組織「鹿角広域観光推進会議」によりスポーツ大会・合宿の受入態勢の整備を図る。 (4) サマーノルディック大会の創設 ・全国大会の創設による競技人口及び交流人口の拡大を図る。</p>
<p>協働により見込まれる効果</p>	<p>○ 競技初心者から上級者までの競技レベルにあわせた施設提供が1カ所で可能となることから、「スキーノルディック競技の聖地」として全国的に鹿角市を売り出すことにより、交流人口の増加を図ることができる。 ○ 実業団や大学等の大型合宿の誘致を県と協働で進め、合宿等における地元小中学生等との交流と指導機会の創出を通じ、競技力の底上げと競技人口の拡大が図られる。 ○ 全国規模の大会や合宿誘致などを活用したスポーツツーリズムを推進することにより、スポーツ拠点としての知名度向上が図られるとともに、スポーツによる交流人口の拡大に取り組むことにより、地域経済の賑わいが創出される。</p>
<p>住民・民間団体等との協働</p>	<p>○ 既に確立されている大規模大会運営時の各競技団体との協力(大会スタッフ)及びかつのイベント誘致協議会を中心とする市民・団体等のおもてなし態勢の充実。 ○ 宿泊施設によるスポーツ合宿受入態勢の充実と民間組織によるまちなか賑わいイベントの充実。</p>
<p>成果指標(数値)※3</p>	<p>(1) スポーツ合宿利用者数 3年後に16%増を達成する。 [2,320人(H23年度実績) ⇒ 2,700人(H26年度目標)] (2) 主要な駅伝大会とスキー大会の参加者数 ※駅伝2大会、スキー2大会 3年後に28%増を達成する。 [1,054人(H23年度実績) ⇒ 1,350人(H26年度目標)] (3) ジュニアクリニック受講者数 ※小中学生を対象とした技術指導講座 3年後に30%増を達成する。 [537人(H23年度実績) ⇒ 700人(H26年度目標)] (4) スキーと中長距離種目の部員数 ※市内中学校、管内高等学校 3年後に16%増を達成する。 [216人(H23年度実績) ⇒ 250人(H26年度目標)] (5) 各種スポーツ大会・合宿に係る経済波及効果 スポーツ大会及び合宿に係る事業実施経費のおおむね1.5倍の経済波及効果を達成する。</p>
<p>推進体制 (プロジェクトチーム)</p>	<p>【秋田県】 スポーツ振興課、地域活力創造課、鹿角地域振興局 【鹿角市】 総務部政策企画課、教育委員会スポーツ振興課、産業部観光交流課</p>